

国の重要文化財

# 多久聖廟MAP

多久聖廟は、儒学の祖で学問の神様ともいえる孔子様を祀る廟(孔子廟)です。多久4代領主多久茂文は、多久を治めるためには教育が必要と考え、1699年に学問所(後の東原庵舎)を建てるとともに、「敬」の心を育むために多久聖廟を建てました(1708年)。

現存する孔子廟としては、栃木県の足利学校、岡山県の閑谷学校に次いで歴史のある建物で、国の重要文化財に指定されています。建築様式は禅宗様仏堂形式です。創建後、毎年2回孔子様と四配(顔子・曾子・子思子・孟子)を祀る伝統行事「積菜」を開催しています。

## 学問所・東原庵舎が輩出した郷土の偉人たち

武士でなくても志がある者は学ぶことができた東原庵舎。社会に貢献する人物を数多く輩出しました。



明治刑法草案者 鶴田斗南



肥前の炭鉱王 高取伊好



日本初の工学博士 志田林三郎

東原庵舎の初代教授河浪自安の屋敷がありました。また、東原庵舎は最初この場所にありました。

全国漢詩コンテストの最優秀作品が石碑で並んでいます。

ハス博士といわれた故「大賀一郎」博士にゆかりのあるハスです。世界最古の花ともいわれています。〈見頃〉6月下旬から7月上旬



## 孔子ゆかりの木「楷樹」と「杏」

○楷樹…孔子の弟子・子貢が、中国曲阜の孔子の墓の横に楷の木を植えたといわれています。聖廟の楷樹は、鹿児島第七高等学校(現在の鹿児島大学)から寄贈されたもので、大正14年に植樹されました。  
○杏…孔子は、杏の木の下で弟子たちに学問を教えていました。

## 聖堂小路の「横の生垣」

江戸時代から火事の類焼防止のため、横の木を植えるようになったということです。

多久初代領主「多久安順(龍造寺家久)」の妻「千鶴」は、筑紫等曲の創始者で多久に在住した諸田賢順(1533年～1623年)から直接等曲を学び、等の名手になったといわれています。

(東原庵舎旧跡記念碑(文字は高取伊好))

文廟記の石碑(多久茂文の聖廟創建への思いを記したものの石碑)

多久4代領主 多久茂文像

物産館(朋来庵) 多久市観光協会

俳人 青木月斗の俳句碑 多久まんにゅうを詠む

唐堀川

聖廟駐車場 P

WC

麵工房 「こうき」

WC

お火たき (大晦日 元日)

聖光寺

河浪自安(右)と 質齋(左)の墓 (東原庵舎初代と二代目の教授)

二千年ハス池

お寺なのに鳥居があります! 聖光寺は神仏混淆のお寺で、楯峰城を守る目的で鬼門の位置(北東)に建てられました。聖廟積菜の際、献官、祭官はここから聖廟に向かいます。

## 多久聖廟

学問の木 楷樹

仰高門

仰高門の「仰高」とは、孔子の弟子である顔淵(顔子)の語で、孔子様の徳の高さを表しています。

洋池

モッコクの木

デミング博士の参拝記念に植樹されました。(昭和55年7月2日)

論語句碑

東大名誉教授で世界的大漢学者 宇野精一先生の論語句碑です。(平成4年夏)

メタセコイヤの木

中国四川省が原産地で比較的成長の早いスギ科の樹木です。(S34. 植樹・現天皇陛下ご成婚記念) ※皇后美智子様のお母方のおじ様が多久出身です。

聖廟説明板 孔子世系譜

漢詩碑

孔子像

孔子 77代目の子孫 孔子徳ぼう女史の論語句碑

江藤新平の詩碑「聖廟詣」

ナポレオン石 説明碑

孔子

曲阜市から平成9年10月に贈られた像です。曲阜市の方向を向いています。

参道

草場佩川漢詩碑 「山行示同志」

管理棟

積菜関係の道具や聖廟の瓦などの資料を展示

聖廟展示館

志田林三郎 顕彰碑

東原庵舎 (公財)孔子の里

WC

儒学の森

聖廟の森

ここは以前、旧石器時代のサヌカイト(讃岐岩)の石器が数多く出ました。

論語カルタ大会や全国漢詩コンテストや論語教室、通学合宿など特色ある専業や教室が開催されています。また、宿泊研修ができますし、中国音楽講師の派遣なども行われています。

弁財山展望公園

三本杉

多久の観光、ボランティアガイドに関するお問い合わせやお申し込み  
多久市観光協会  
営業時間 9:30～17:00 (休館日 第3火・月末日)  
☎ 0952-74-2502

聖廟積菜・孔子祭、ジュニアガイド、音楽講師(楊琴)等に関するお問い合わせやお申し込み  
公益財団法人「孔子の里」  
営業時間 8:30～17:15 (休館日 毎週月曜日)  
☎ 0952-75-5112

観光全般に関するお問い合わせ先  
多久市商工観光課商工観光係  
☎ 0952-75-2117

多久市インフォメーションシステム 「たくなび」  
多久聖廟・西溪公園周辺のスポットが検索できます。

